

かながわの交通

2023
10月号

交通安全年間スローガン受賞作品(全日本交通安全協会会長賞)
歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの

自転車も車社会の責任者



秋の全国交通安全運動出発式（ガンダムファクトリー）

道路の横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう！

歩行者
事故
多発！

◎県内の交通事故発生概況（令和5年9月末現在） ◎県人口・運転免許人口

区分	発生件数	死者数	傷者数
令和5年	15,855	77	18,679
令和4年	15,275	76	17,660
増減数	+ 580	+ 1	+ 1019
増減率	+ 3.8%	+ 1.3%	+ 5.8%

	総数	男	女
県人口	9,231,427	4,575,703	4,655,724
免許人口	5,671,406	3,212,472	2,458,934
割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.8人に1人

(県人口は令和5年9月1日、免許人口は令和5年8月末現在)



ホームページ

令和5年度
関東管区警察局長連名表彰
関東交通安全協会連合会会长

4団体、31名が受賞

● ● ● 《受賞おめでとうございます》 ● ● ●

交通安全功労団体表彰

この表彰は、地域、職域において交通安全活動を積極的に推進し、交通事故防止に顕著な功績のあった団体に贈られます。

(敬称略)

大栄交通株式会社	代表者 安 英哲 (加賀町)
横須賀警察署管内地域交通安全活動推進協議会	代表者 中村 昌弘 (横須賀)
厚木警察署管内交通安全協会 厚木北支部	代表者 柳田 光太郎 (厚木警察署管内)
相鉄バス株式会社 綾瀬営業所	代表者 小野 直樹 (大和綾瀬)

優良運転者表彰

この表彰は、交通法令をよく守り、常に安全運転に心がけ永年無事故の運転者で人格、職見ともに優れ、他の運転者の模範として安全運転の推進に多大な功績があると認められる方に贈られます。

(敬称略)

矢矧 喜史 (磯子)	嘉一 (葉山町)
金子 裕 (南)	ミエ子 (藤沢北)
上江洲 安弘 (鶴見)	直洋 (藤沢北)
武田 光男 (保土ヶ谷)	大三郎 (茅ヶ崎地区)
西田 雅憲 (保土ヶ谷)	小竜 (茅ヶ崎地区)
小原 八隆 (旭)	秋谷 (小田原)
中原 憲俊 (八隆)	長杉 (秦野市)
中西 山村 (港南)	南 (厚木警察署管内)
江鈴 駿治 (南北)	北 (厚木警察署管内)
鈴田 仁 (青葉)	大治 (厚木警察署管内)
田佐 滉 (都筑)	久和 (大和綾瀬)
滝井 佐治 (戸塚)	博 (相模原)
井田 泰安 (塚)	秀光 (相模原)
井長 幸信 (栄)	昭 (相模原)
木口 满雄 (川崎臨港)	留本 (相模原北)
中藤 泰弘 (幸賀)	高井 (津久井)
木中 滉治 (須賀)	永秋 (津久井)
藤口 上春 (横須賀)	留本 (津久井)
木塚 信二 (横須賀)	高井 (津久井)

～引き続きの安全運転をお願いします～

⌚ 秋の全国交通安全運動の活動結果 🍂

秋の全国交通安全運動が9月21日(木)から30日(土)までの10日間行われ、地元警察署、自治体等と連携した交通安全キャンペーンを実施し、通行人に啓発物品を配布するなど多発する二輪車や高齢者の関係する交通死亡事故の抑止を呼びかけました。



〔都筑交通安全協会〕 レーシングドライバー 織戸 学さんを一日警察署長に招いてのキャンペーン



〔金沢交通安全協会〕 退社時間帯、能見台駅前周辺におけるキャンペーン



〔大磯交通安全協会〕



〔横須賀交通安全協会〕

運動期間中の人身交通事故は、発生件数、負傷者数は前年同期に比べ増加しましたが、死者数は同数でした。

◇ 運動期間中の交通事故発生概況

区分	発生件数(件)	死者数(人)	負傷者数(人)
期間中	646	2	739
前年同期比	+41	±0	+45

期間中の交通死亡事故

- 9月23日 横浜市都筑区 普通乗用自動車が車道を横断中の歩行者と衝突
- 9月25日 横浜市西区 普通乗用自動車が自転車と衝突

自転車損害賠償責任保険等への加入は義務となっています。

県内では自転車と歩行者の関係する交通事故が増加しており、重大な事故も発生しています。また、全国では自転車事故の加害者に対し高額な損害賠償を請求された事例もあります。

自転車の安全で適正な利用と自転車事故の被害者を速やかに救済し、加害者の経済的負担を軽減するため「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が制定され平成31年4月から施行されました。

自転車事故は約7分31秒に1件発生しています。

(警察庁「令和4年中の交通事故の発生状況」から)

全日本交通安全協会の自転車会員入会およびサイクル安心保険加入のご案内

自転車事故補償コース

自転車総合保険
(保険期間1年間、団体割引30%)



ケガの補償
本人
自転車に起因したケガ
家族

1年間の
掛け金
(一括払)

(注)記名被保険者

プランA 基本

1億円

プランB 個人向け

1億円

おすすめです!

自転車事故に起因した賠償事故

補償されません

死亡・
後遺障害保険金 1,000万円
入院保険金(日額) 3,000円

補償されません

補償されません

死亡・
後遺障害保険金 1,000万円
入院保険金(日額) 6,000円

死亡・
後遺障害保険金 850万円
入院保険金(日額) 6,000円

ご家族全員を補償!
一人あたりの掛け金が割安に!

Web申込み 1,670円

郵送申込み 1,870円

Webからのお申込みがお得!

Web申込み 2,690円

郵送申込み 2,890円

Web申込み 4,370円

郵送申込み 4,570円

手続方法

1 Webの場合
¥ クレジットカード決済

● 掛け金がお安い
● 加入者票はその場でダウンロード

WEB加入が
お得です!

2 郵送の場合
¥ 口座振替

ホームページから まずは検索ください!

一般財団法人全日本交通安全協会 自転車会員 検索

モバイルから

右記のQRコードから
アクセスしてください。

QRコード
読み取る

申込用紙を入手してお申込みください

《申込用紙の入手方法》

①ホームページからダウンロード
②下記団体連絡先、一般財団法人全日本交通安全協会 自転車会員係までご連絡ください。

団体のご加入人数が10名を下回った場合は、この団体契約は成立しませんのでご了承ください。
★このチラシは、概要を説明したものです。詳細に関しては、上記ホームページ上のパンフレットをご覧ください。

問い合わせ先(保険会社等の相談・苦情・連絡窓口)

取扱代理店 株式会社インシュアランスサービス 自転車保険担当窓口
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-9夷ビル2F

引受保険会社 【受付時間】平日:午前9時~午後5時
損害保険ジャパン株式会社 営業開発部第二課
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
損保ジャパン本社ビル14階
TEL 03-3349-3578

TEL 03-4590-1519 【受付時間】
平日:午前9時~午後5時

団体連絡先 【受付時間】平日:午前9時15分~午後5時
一般財団法人全日本交通安全協会 自転車会員係
〒102-0074 東京都千代田区九段南4-8-13
TEL 03-6261-2927

SJ20-09459 (2020/11/12)

～首都圏放置自転車クリーンキャンペーン～



○ 趣旨

自転車・バイク(以下自転車等)の利用増大に伴い、一部の駅周辺等では大量かつ無秩序に自転車等が放置され、これに起因して道路環境の悪化や交通事故・渋滞等が発生している現状がある。そこで、自転車等の放置を防止するため、関係機関・団体が相互に連携を密にし、放置自転車追放のためのキャンペーンを展開します。

○ 期間

令和5年10月1日(日)から10月31日(火)まで
(10月22日(日)から31日(火)の10日間を強調期間とする)

○ 標語

「自転車の代わりに置こう思いやり」

○ 推進事項

- ・広報活動及び放置自転車等の撤去活動を推進します。
- ・違法駐車追放運動等と連携した活動を推進します。
- ・キャンペーン期間中、自転車等の防犯登録促進運動を併せて実施します。
- ・自転車利用者の交通ルールの遵守とマナー向上を図るための広報を行います。

第46回「自動車なんでも相談所」の開設

自動車の使用上及び利用上で困っていること、アドバイスの欲しいことなど自動車全般について、何でも相談してください。相談は無料です。

相談日時 11月9日(木)・10日(金) 両日午前11時～午後5時

相談場所 横浜駅東口「新都市プラザ」(そごう地下2階 正面入口前)

相談内容 ①自動車の売買に関すること

②自動車の故障、整備・車検に関すること

③バス、タクシー利用上の意見・要望

④荷物の運送や引越の相談

⑤交通事故や自動車の税金に関すること等

相談員 共催・後援団体の担当者等

主 催 一般社団法人神奈川県自動車会議所

共 催 公益財団法人神奈川県交通安全協会等

後 援 関東運輸局神奈川運輸支局等



交通事故の悲劇に学ぶ ⑮

●「戻らない命」 芸能マネージャー(30代)

それは、ある秋の夜のことです。私は幼なじみ親友2人と和食店に入り夕食を食べていました。

当時の私は、その親友たちとほぼ毎日のように行動を共にしておりました。

私達は夕食を食べ終えると、誰とはなしに「お台場でもドライブに行こう」ということで話がまとまり、私の運転で出発しました。

私が取り返しのつかない事故を起こしたのは、首都高速に入ってすぐのことです。私は、これまでたくさんの交通違反を繰り返してきましたが、反省することもなく、荒っぽい運転を続けていました。

その日もハンドルを握ると、いつものように荒っぽい運転になっていました。

そのため、進路前方の車線が工事のため一車線に規制されていたにもかかわらず、急加速をして無理矢理前方の車の前に割り込もうとしました。

すると次の瞬間、私の車は急に横滑りを始めるとコントロールを失い、車の左側面から工事車両に激突してしまいました。

事故の衝撃で車のボディは工事車両に押し潰され、助手席とその後ろに乗っていた親友は潰れたボディに挟まれ、ぐつたりしていました。

私は、一心不乱に運転席の窓から抜け出すと、近くにいた工事関係者に「救急車を呼んでください」と叫びました。

そして自分は親友2人に向かって「がんばれ」、「目を開けろ」などと声をかけ、2人の親友の名前をずっと叫び続けていました。

その後2人は通報により到着した救急隊により病院に運ばれましたが、懸命な救護のかいもなく亡くなってしまいました。

私は病院に入院し、その後逮捕されましたが、2日後には釈放されました。

釈放後直ぐに、御遺族のもとへ行き、土下座をして謝らせていただきました。

そして、その後も毎週のように仏壇にお線香を供えるため、伺わせていただいたところ、御遺族から「あなたが一番辛いよね」と温かな言葉をかけていただきました。

今思うと私はその言葉に甘え、いつしか事件のことを軽く考えるようになり、御遺族に大変失礼な態度をとっていたのではないかと思います。

私は裁判で過失運転致死罪、禁固4年の刑を言い渡され、市原刑務所に入所しました。

しかし、そこでも市原刑務所の決まりを守れず、懲罰

を受けてしまいました。

そのこともあって、改めて自分の甘さや意思の弱さに愛想を尽かし「これではダメだ」と心を入れ替える決意をしました。

今考えると、私は事件を起こしたことで家族や知人、職場に多大な迷惑を掛けてしまいましたが、自分自身は以前と何も変わっていませんでした。

面会や手紙では「一生懸命頑張っている」と、言っていましたが、それは自分を偽り、自分の大切な人に嘘をついていました。

私が心を入れ替えようと思ったもう一つの動機は、懲罰中に読んだ「もう一度会いたい」という御遺族の手記を読んだことです。

手記の中には「加害者は出所後、一度謝罪に来て、一生償うと言うが、口先だけでその後は一切何もしない。そのことで再度傷つけられた」という記載がありました。

私はその部分だけが頭に残り「自分は絶対こんな想いを御遺族にさせない」と心に誓い、心を入れ替えて刑期を過ごしました。

今の私は、規律を守り、規則正しい生活を送っていますが、少しでも油断すると、この先また気が抜け、間違ひを犯す弱い人間だと思っています。

亡くなった親友の御遺族とは示談が成立していますが、それは「償い」とは関係ないことだと思っています。

受刑生活で学んだことや、市原刑務所での改善指導(被害者の視点を取り入れた教育)で学んだことを実行することが「償い」の第一歩だと考えています。

私の軽はずみな行動から、私の親友は被害者となり、親友のご家族は御遺族という関係になってしましました。

そして私の家族は加害者の家族となりました。

しかし、今更悔やんだところで何の解決にもなりません。

この先、一番大事なことは、私が心を入れ替え行動で示すことだと思います。

車を運転する人なら誰もが私と同じ間違ひを犯す可能性を秘めています。

どうか皆さんには、私の過ちを他人事とは思わず、自分の事として慎重な運転を心掛けてください。

過ちをおかしてからでは遅いのです。

～(一財)東京都交通安全協会編集発行

「贖いの日々(第58集)」から～

この人
210



(一財)平塚交通安全協会
会長

なか うら わたる
中浦 渡さん



平塚市交通安全協会は、昭和28年4月に、県協会から正式に登録され発足し、当時の事務所は平塚市見附町にありました。

平塚といえば湘南ひらつか七夕まつりが有名ですが、当協会は昭和33年第8回の七夕まつりから協力出動し、現在まで続いております。かの「七夕音頭」が昭和47年に発表されており、それ以前から活動していました。

さて、令和4年5月から一般財団法人平塚市交通安全協会会長としてご活躍の中浦渡さんを紹介します。中浦さんは、昭和17年に和歌山県に生まれ、高等学校卒業後の昭和35年から関東特殊製鋼(株)で勤務され平成11に同社部長に就任されました。

そんな中浦さんですが、ボランティア活動に深い関心をもち、昭和52年に平塚市交通安全協会の山下支部交通指導員として委嘱され、学童登校時の交通指導等を積極的に行っておりました。また、地域での実績が認められ平成9年には、山下支部の支部長に就任

しました。

平成25年に協会の総務部長に就任してからは、1日・15日の交通安全日及び各季の運動期間中には、朝7時半より広報車による広報PRを一度も休まず行っております。平成28年に副会長に就任されてからは、各種会議や交通安全キャンペーン等にも積極的に参加し自転車の交通事故の防止など交通安全意識の高揚にも熱心に取り組んでいます。また、会長は温厚篤実、品行方正な人柄であり、卓越した指導力に基づくこれまでの数々の活躍・功績が認められて、令和3年には「交通栄誉章緑十字金賞」を受賞しています。

当協会会長に就任されても警察署や関係機関と連携を図り、交通安全協会の運営に力量を發揮している他、決意も新たに「交通事故ゼロ」「地域の安全」に一層のご尽力をいただくとともに、更なるご活躍、またご指導のほどを願う次第であります。

(取材協力:(一財)平塚市交通安全協会)

ここにちは「葉山町交通安全協会」です

葉山町交通安全協会は創立74年になります。

葉山御用邸を窓越しに臨み、葉山町のキヤッチフレーズ「安全安心の町づくり」の為に交通事故防止啓発等の活動を行っています。

葉山町の年間イベントは、町内的一部の道路を規制して行う町総出の葉山駅伝大会・毎年9月7・8日に行われる6町内合同の森戸神社祭・葉山花火大会が大きな行事です。

これらのイベントに交通指導員らが交通整理等に活躍しております。

葉山町には、保育園が1つ、幼稚園が5つ、4つの小学校と2つの中学校が存在しますが、電車は通っていません。

ですから、通勤や移動手段は、路線バスや自動車、バイク、自転車そして徒歩となります。

子供のころから交通ルールを体得してもらいたくなつても交通ルールの重要性を理解してもらえるような子供達に育つて欲しいとの願いをこめて交通安全教育を警察・町主導の元で役員、推進員や交通指導員らを動員して行っています。

葉山は、春夏秋冬のマリンレジャーと観光を求めて各地から人が訪れます。各季の交通安全キャンペーンは観光客らも目にしていることでしょう。



特に夏の交通事故防止キャンペーンは、毎回一色海岸の海の家や海水浴客らを訪問し「飲酒運転撲滅」を訴え警察、各関係団体と協力のもとに汗を流しつつ行っています。

砂浜に足を取られながら歩いて、こんなハードなキャンペーンは海が近い葉山警察署だけと自負しています。

また、高齢者の事故率は、県下の中でも高いことから高齢運転者の運転免許返納者に対して、感謝の気持ちを込めて葉山警察署長と葉山町交通安全協会会長連名による「卒業証書」を長年に渡り授与して喜ばれています。

世間は、収入証紙のキャッシュレス化やら免許のオンライン化、マイナンバーカードに健康保険証や運転免許の紐付け…と様変わりの時期で将来に向かって不安は募るばかりですが、免許更新関係と証紙販売等の業務については、肃々と行うとともに痛ましい交通事故を1件でも減らせるように各事故防止啓蒙活動を推進していきたいと思っております。

(高橋 記)



こんばんは 早めのライトで ごあいさつ

地区交通安全協会の活動紹介



金沢 交通安全こども自転車全国大会に出場



港南 野庭すずかけ小学校における交通安全教室



厚木警察署管内 国道246号線・厚木市と共同した交通事故防止運動



厚木警察署管内 厚木警察署と愛川町合同、小学生児童に対する
交通安全教育



厚木警察署管内 厚木市立北小学校における交通安全教室



相模原北 警察署前における夏の交通事故防止キャンペーン



津久井 相模湖プレジャーフォレスト前における
「夏」交通事故コーン絶対キャンペーン



麻 生 新百合ヶ丘駅前における春の全国交通安全運動キャンペーン

交通安全活動

このコラムでは(公財)神奈川県立交通安全協会の交通事故に特集し、交通事故としての特徴をいたばいでいき業者を順次紹介しています(敬称略)。

- 株式会社ツクイ 横浜市港南区
 - 株式会社サントークー 横浜市神奈川区
 - 文一堂印刷株式会社 横浜市港南区

公益財団法人神奈川県交通安全協会では、交通事故のない安全で安心な交通社会を実現するため様々な交通安全事業を行っております。

アシストチャート

- 交通安全功労者表彰式 —————— 11月2日(木) 県立音楽堂
 - 自転車安全教育指導員講習会 —————— 11月10日(金) 辻堂交通公園
 - 自転車安全教育推進委員会・二輪車安全運転推進委員会 —————— 11月17日(金) 県協会会館
 - セーフティライダーズスクール —————— 11月11日(土) 運転免許センター
 - かながわバイクリカレントスクール —————— 11月25日(土) 運転免許センター